

授業科目名・形態	公衆衛生看護学概論	講義	必須・選択の別	必修	
担当者氏名	吉田 幸子	開講期	2年前期	単位数	2

【授業の主題】

本科目は、健康に影響する様々な要因を学び、地域で生活しているすべての人々の健康を支援する看護の概要を学ぶ。また、看護の歴史を通して、社会の変化に伴って起こる地域の健康課題に対して、組織的に解決を図る公衆衛生看護活動の機能と特性を学ぶ。

【到達目標】

1. 健康を支援1するためには、生活者の視点と予防の概念が重要であることが理解できる
2. 健康な地域づくりにおける公衆衛生看護活動の意義と役割を理解できる
3. 看護分野の役割と、住民や関係機関との連携や協働の意義を理解し、看護観の拡大を図るとともに、看護の質の向上の重要性を理解する

【授業計画・内容】

- 第 1 回 公衆衛生看護の基本理念と目標
- 第 2 回 公衆衛生看護活動の基盤概念 ①集団・地域・人権
- 第 3 回 公衆衛生看護活動の基盤概念 ②予防・戦略・政策
- 第 4 回 公衆衛生看護活動の歴史
- 第 5 回 社会の動向と健康課題
- 第 6 回 健康政策 (保険・医療・福祉制度)
- 第 7 回 国際協力
- 第 8 回 健康に影響を及ぼす生活環境要因
- 第 9 回 生活構造・生活習慣と健康
- 第 10 回 公衆衛生看護の対象 (個人・家族)
- 第 11 回 公衆衛生看護の対象 (集団・組織・地域)
- 第 12 回 公衆衛生看護活動の場
- 第 13 回 公衆衛生看護活動の方法と技術 (健康支援活動・組織支援活動・協働と連携)
- 第 14 回 公衆衛生看護活動の展開 (情報収集と整理・地域診断・計画・評価)
- 第 15 回 公衆衛生看護管理 (システム構築 施策化 健康調査、災害対応)

【授業実施方法】

講義を中心とし、課題を活用した学習展開

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨む。課題に取り組みレポートする。

【主な関連する科目】

「公衆衛生学」「健康教育論」「在宅ケア論 I」「社会保障論 I」、等

【教科書等】

公衆衛生看護学 j p、インターメディカル 更新版

【参考文献】

標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 医学書院

国民衛生の動向 最新年度版 厚生労働統計協会

【成績評価方法】

定期試験結果 (80%)、レポート (10%)、受講状況 (10%) で評価する

【学生へのメッセージ】

看護を提供する場が地域に広がっています。支援者として看護の社会性にも視野を広げましょう